



The Y's Men's Club Of

Kyoto-Capital

CHARTERED 28 Sep. 1983

2025 9

Bulletin

2025. 9. 1 発行

第43巻 第3号 506通巻号

〔CLUB OFFICE〕 京都 Y M C A 〒604-8083 京都市中京区三条柳馬場角 ☎ (075) 231-4388

クラブ
主
題

恩送り～メンからクラブへ クラブからYMCAへ～

会 長 宮 崎 順 巳

会 長／宮崎順巳
副会長／仁科保雄・石倉 尚
書 記／西川欽一・野口晋司
会 計／田中升啓・松村隆孝

国 際 主 題：I P エドワード・オン (シンガポール) “Faith, Love, Action” 「信念、愛、行動」 “Together Stronger” 「共に、より強く」
アジア太平洋主題：A A P 田上 正 (熊本むさしクラブ) “Act now with faith and love!” 「信念と愛を持って行動しよう！」
“Contribute to local society together with YMCA and Youth!”
“YMCA、ユースと共に地域社会に貢献しよう！”
西日本区主題：R D 中 井 信 一 (奈良クラブ) “Let's enjoy the YYY life together with our friends all over the world!!”
“世界中の仲間とYYYライフを楽しみましょう!!”
京都部主題：D G 隠 塚 功 (京都パレスクラブ) “Stay with you. Never forget you.” 「あなたに寄り添う。あなたを忘れない。」
“Looking for the next stage!” 「次のステージを求めて！」



EMC事業を考える

EMC事業委員長 苗 村 昌 暮

ついに始まりました。今期は宮崎会長の下、EMC事業に委員長として携われ大変光栄なことです。宮崎会長の期待に沿った事業活動をしていこうと日々楽しく活動させて頂いております。ありがとうございます。

委員の方に助けてもらいながら委員会を行いすでに1年間のスケジュールが出て、その内容を具体的に進めていく打ち合わせを毎月させて頂いております。時には月一回では不足、臨時委員会も開きながらEMC事業に積極的な委員の方々の意見をまとめながらクラブの躍動を手助けしている事は非常に誇らしいことと自負しております。

さて、EMCとはご存じの通り、「E」エクステンション＝新クラブの設立、「MC」メンバーシップ＆コンザベーション＝会員増強と意識高揚・メンバーシップ：クラブへの帰属意識、満足度の向上、意識を高める・コンザベーション：クラブ運営を保ち、発展させる（会員増強とクラブ活性化）です。

今期私は、このEMCの中でもクラブメンバーのクラブへの意識高揚と満足度の向上、を重視した事業活動をだれもが意識できるような活動していきたいと思います。一部のメンバーだけが頑張るのではなく、全員でクラブを向上する体制を生みたいのです。

京都部EMC事業主査の森下さんが掲げている、メンバー満足度を高めることで、会員一人ひとりが活動に満足し、クラブの成長と発展に貢献する意欲を引き出すと考えます。また、クラブ活動における一体感を生むことが、クラブの長期的な発展につながります。とあるように一体感が生まれた1年だったなと思える事業活動にしていきたいと思います。

今までのキャピタルクラブをさらに新しく、より良いクラブへと変えていく必要がある。時代に合ったクラブ運営をしていく必要があると日々思いながら活動をしています。これからもゆっくりですが皆様とキャピタルクラブが成長していければ幸いです。宜しくお願いします。

今月の聖句



だれかが、一ミリオン行くように強いるなら、一緒に二ミリオン行きなさい。

新約聖書 マタイによる福音書 5章41節

解 説

ローマ帝国ではローマの兵士は、支配下の民衆に対して強制的に自分の荷物を担がせて1ミリオン（約1.5km）運ばせることのできる権限が与えられていたそうです。当時ローマ帝国の支配下にあったユダヤ人も同様でした。

強制されること（しなければならぬこと）は嫌でも従わなければなりません。だから、求められたことをなしてしまえばそこで終わり、それ以上のことは誰もしようと思いません。責務からの解放です。

しかし、この聖句はそれ以上のことをしなさいと教えています。それは義務ではなく自由意思による積極的関与です。そこには、それを強要した権威や相手、あるいはその役目に対して関与していく自らの意思の力があるのです。

この聖句の前の39節にはあの有名な「誰かがあなたの右の頬を打つなら、左の頬をも向けなさい」という聖句があります。

西日本区
強調月間

9 月 EMC YES

楽しいクラブに人は集まる！ 魅力あるクラブに人は集まる！
人が集まるからこそ大きな奉仕が出来る！ メンバー満足度を高めることが『会員増強』の鍵！
各クラブにおける『メンバー満足度』を真剣に考える機会を作ろう

久保田 雅彦 EMC事業主任（京都グローバル）

年間強調
目標JWF

JWF（西日本ワイズ基金）存在の意味を理解し、その活用方法と献金方法についての知恵を出し合ひましょう。

川本龍資 JWF管理委員長（名古屋クラブ）

強い義務感を持とう 義務はすべての権利に伴う

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"



8 月 第 一 例 会

2025年8月5日 (火) 19:00~21:00 ウェスティン都ホテル京都

交流事業委員 山 田 隆 之

2025年8月5日(火)ウェスティン都ホテル京都「愛宕の間」に於いて、ゲストスピーカーに田中大志様をお迎えし開催された。

田中大志様は19歳の時にイスラエルに留学。ベツアルエル美術デザイン学院映像表現学部に入学期、在学中に制作された短編ドキュメンタリー映画「ガリラヤの漁師」を制作され、2019ハイファ国際映画祭学生部門で銀賞を受賞された。

2020年に帰国後、奈良県生駒市を経て現在は京都府南丹市日吉町にお住まいになり、村おこしを兼ねて地元住民だけで制作する自主製作映画のプロジェクトを立ち上げられた。例会では自主製作の苦労話や楽しいエピソードを聞きながら映画を鑑賞し、本日のメインプログラムを終えた。

会員増強やクラブのモチベーションを向上させるには如何に楽しく、キャピタルクラブにふさわしい例会を企画することが大切です。簡単に例会をこなすこともできますがドライバー委員会、メンバーの創意工夫により、本日の例会のようにいろいろな知識が得られる意義ある例会を続けることが、キャピタルクラブのさらなる発展につながると思います。



8 月 第 二 例 会 納 涼 例 会 「 楽 し か っ た 佐 野 家 」

2025年8月23日 (土) 18:00~20:30 ホテル佐野家

交流事業委員 幡 南 進

地蔵盆の時期は、例年暑さが少しずつ和らぎ始める頃ですが、今年は灼熱の中、多くのメンバーがご参加くださいました。冷房の効いた室内は寒いほどでしたが、宮崎会長のご挨拶に始まり、ゲストのご紹介、加藤総主事による食前の感謝、そして仁科副会長の乾杯のご発声と続き、会場はすぐに熱気に包まれました。夏場のしゃぶしゃぶも心地よく、和気あいあいとお鍋を囲む姿が印象的でした。中盤には、吉井ドライバー委員長の企画による記念フォト撮影が行われ、ご家族やグループの皆様が満面の笑みを浮かべる、素敵なひとときとなりました。また、ドライバー委員会企画として「大事にしている言葉」をお一人ずつご紹介いただきました。ここでは書き尽くせないほどの言葉やエピソード、そして今の幸せが語られ、心が豊かになるひとときでした。「キャピタルクラブで良かった」と心から思える、まさに素晴らしい納涼例会でした。ご準備いただいたドライバー委員会の皆様に、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。



第31回アジア・太平洋地域大会

交流事業委員長 金 原 弘 明

8月1日(金)～3日(日)第31回アジア・太平洋地域大会が2025-26アジア・太平洋地域会長(AP) 田上 正様のお膝元である熊本で行われました。今回の大会ホストの委員長である田上様は昨期末の西日本区大会で我々キャピタルクラブとDBCを締結したばかりの熊本むさしクラブのメンバーであることもあり、キャピタルクラブからは総勢17名での参加となりました。大会初日、式典開会前に地元熊本の郷土芸能である山鹿灯籠おどりと大津太鼓が披露され、大会の開会を盛り上げてくれました。国際会長、APの就任式後の基調講演は京都パレスクラブの大野嘉宏様による「ラオスにYMCAを！」の講演でした。自然豊かなラオスと京都市との関わりを紹介するビデオ映像から始まった基調講演はあっという間でしたが、最後に「YMCA」という名称を表に出すにはハードルは高く、まだまだ道半ばだがあきらめず挑戦し続けるという力強い思いを語られたことが特に印象的でした。

1日目の夜は直前AP主催の晩餐会。最初にサプライズゲストとしてくまモンの登場により一気に盛り上がりを見せ、フルコースのとてもおいしい料理を楽しみました。晩餐会の場でDBC締結先である東京クラブの佐藤茂美様、IBC締結先である台北アルファクラブの王善卿会長とご挨拶ができ、一緒に集合写真をとることができたことが何よりでした。王会長はわざわざ日本までお越しいただいたということでプレゼント交換も行うことができました。更に晩餐会後には全員で熊本むさしクラブさんとの交流会に向かいました。

2日目は昼間は各々選択したコースに分かれてのエクスカーションを楽しみました。夜は現AP'主催の晩餐会。田上さん主催ということもあり、お寿司やてんぷらなど日本食を中心としたライブキッチンやビュッフェも楽しめる晩餐会でした。

3日目は私は熊本の実家に向かうため、ユース報告のみ出席しました。情熱溢れる報告で、キャピタルクラブで行ったあの「あうる京北」でのAYCの思い出を懐かしく思い起こしつつ、会場を後にしました。

参加者17名

第31回アジア太平洋地区地域大会 前日ゴルフコンペに参加して

地域奉仕・環境事業委員 香 山 章 治

2025年8月1日(金)～3日(日)に第31回アジア太平洋地域大会が熊本で開催され、今回参加させていただきました。

参加者の内有志8名で、前日7月31日(木)に阿蘇大津ゴルフクラブにてゴルフコンペを開催しました。

伊丹空港から熊本空港着、レンタカー1台にて阿蘇大津ゴルフクラブへ8名到着。

受付にて、10時7分と15分でエントリーしている京都の……説明したところ、シー？エントリーできてませんが……

エ~~~~。

いきなりOB！

平日ということもあり、ほぼ予定通りの時間でカートは出発。よかったー。

GDOさんでしっかりエントリーしたつもりなのに。それから同行のメンバーからは何かと痴呆症扱い。トホホ……。

気を取り直してティーグラウンドへ。パシーン。

まずまずのナイスショット。夏真っ盛りのゴルフは63歳の私には心身共にこたえましたが、楽しく1日を過ごすことが出来ました。

ダブルペリアで優勝は山田隆之さんでした。商品も賞金もございませんでした。ニアピンは黒木さんが2つ、西川さん、香山が取りました。

明日からの大会に備え、潤滑油注入の為夜の街へ……。また一つ楽しい思い出が出来ました。

お疲れ様でした。

参加者(敬称略)

石倉尚、岡崎敬史、黒木宏知、西川欽一、野口晋司、松田裕之、山田隆之、香山章治

熊本むさしクラブDBC交流会

YMCAサービス・ユース事業委員 八 木 悠 祐

8月1日金曜日、アジア太平洋地域大会の初日の晩餐会の後、熊本むさしクラブさんとのDBC交流会が居酒屋『ぴかー』にて開催されました。アジア太平洋大会のホスト役をお務めのお忙しい中、熊本むさしクラブの多くのメンバーがお集まりいただき交流の場を盛り上げていただきました。神戸で開催されました西日本区大会の時も交流会を行いました。今回初めてお会いするメンバーさんともたくさん参加いただき、交流の輪が大きく広がったという印象です。むさしクラブさんは、女性メンバーも多く、とにかく皆さんが仲良く朗らかでアットホームなクラブの印象がよく伝わってきました。前期に始まったばかりのDBC交流ですが、昔から知っている友人に会ったような雰囲気で大いに盛り上がりました。皆さん、次回は京都部会でお会いいたしましょう！！





岩本敬子さんを偲ぶ会

副会長 石 倉 尚

2025年7月26日(土)14:00よりホテルモントレ京都に於いて5月18日にご逝去された岩本敬子さんを偲ぶ会が、ご親族とウエストクラブにて執り行われました。祭壇には、きれいなお花に囲まれた遺影が飾られていました。略歴紹介からは私との接点は無かったものの、YMCAやワイズでの事業で一緒に折には、あの満面の笑顔とチャキチャキの江戸弁で気さくにお声をかけていただいたことで、この偲ぶ会に参列させていただきました。

参列された方の思い出話やエピソードから、多くの人に愛され慕われた様子を垣間見ることができました。あの笑顔とチャキチャキの江戸弁が今にも聞こえてきそうです。

どうぞ安らかに眠りください。ありがとうございました。

参加者：加藤俊明総主事、幡南進、石倉尚



DBC 東京クラブの例会に参加して

広報・ブリテン事業委員 田 中 雅 博

2025年8月25日(月)の16:20。「東京湾サンセットクルーズ」の出航の銅鑼の音とともに、東京クラブの8月例会が始まりました。

渡邊会長の点鐘、英語でのワイズソング斉唱の後は、豪華なディナーへと続きました。東京の他のクラブの方や、メンバーのご家族、ゲストの方を併せて、総勢50名を超える参加者がおられ、一言自己紹介を聞き、一気に親しみが増しました。

我々は分かれて席に着き、石倉さんと松田さんと私は、東京YMCAの星野総主事と東京クラブの磯田特別メネットと席を同じくし、磯田さんの元気なお姿に大いに感動し、健康の大切さを改めて感じました。

例会の途中では、金原交流委員長から託されたお土産をお渡しし、しっかりと交流もしてまいりました。

多くの方々と語った楽しい時間はあっという間に過ぎ、これからも活発な交流が続くことを願いつつ船を降りました。エレガントな雰囲気と満喫した東京クラブの例会。ありがとうございました。

参加者：石倉尚、仁科保雄、仁科節子、松田裕之、宮崎順巳、宮崎早希、宮崎貴歳、宮崎悠理子、田中雅博



京都ZEROワイズメンズクラブ 15周年記念例会

ファンド事業委員 山 口 雅 也

京都ZEROワイズメンズクラブの15周年記念例会に参加しました。登録者数225名でキャピタルクラブの周年と同じくらいの数で盛大な会でした。ZEROクラブは10周年がコロナ禍で開催を見送られ、今回初めての「周年例会」とのことで、しっかり準備されたそうです。記念式典ではご来賓のあいさつに次いで、記念事業の紹介がありました。京都YMCAリトリートセンターへキャビンとシャワー施設を寄贈されました。第二部の祝宴は、冒頭、ニュージーランドラグビーチームがよく行う、「ハカ」をメンバーが壇上で勇壮に披露されました。宴も進み、お食事やアルコールも入ったところで、メンバーのみならず、メネットやコメットさんも壇上へ上がりゴスペルミュージックに合わせ歌をうたい、ラスト近くは「メンバー紹介」を一人一人され、第16期会長の加藤さんの主題である「超感動」をクラブ全体で表すような力強い例会でした。キャピタルからは15名が参加し、記念例会後は、先日アジア大会でご活躍された熊本むさしクラブの田上さんとキャピタル有志で2次会を開催し懇親して帰路につきました。



東京クラブとのDBC

京都キャピタルクラブ特別メネット 山口 弘子

8月5日キャピタル第一例会に渡邊会長が、25日サマーウエルネス例会に当クラブより6名参加のお礼にお越しいただきました。

4年ほどの長いコロナ禍にあって、お互いの交流が途絶えていた中、前期鎌田交流委員長と田中雅博さんがさらなる交流のため貴クラブを訪問されました。

思い起こせば1993年6月京都市が平安建都1200年記念プレイベントとして「東海道五十三次お茶壺道中」を企画実行されて当クラブ10代会長高野實さん（当時私は書記でした）とクラブメンバーが、ワイズマークを入れた法被と会長親書の入った文箱を担ぎ、本体の京都市商工会議所青年部のメンバーとご一緒させていただきました。6月6日の京都三条大橋を出発して、メンバー各々が各地域15か所で待機して文箱を引き継ぎました。

そして6月20日にやっと横浜から日本橋に到着しました。（私も最後のコースを歩き、途中から車に乗せていただきました）当日、沿道には京都からのお茶壺道中の本隊に歓迎の人々が多くおられました。

当クラブが日本橋に到着した折には、日本区の旗をもって貴クラブのメンバー及び東京ひがしクラブの鈴木健次さんたちに出迎えていただきました。その後、歓迎晩さん会を東京YMCA国際奉仕センターで開催され、高野会長からDBC親書が貴クラブ会長梶原安臣さんに手渡されました。なお、この計画に賛同して参加されたクラブは、25クラブと述べ105名でした。当クラブからは、メンバー、メネット、コメット含めて延べ71名が歩きました。そして翌年11代会長仁科保雄さんの期、3月20日にDBC締結書への署名が終わり、貴クラブ会長小林正樹さんと熱い握手ののち、締結書が交換されました。

（DBC締結の経緯は、キャピタル20周年記念誌、故岡本尚男さんの記録を参考にさせていただきました）

こうした32年の長きにわたるDBCの中、お互いのクラブを訪問してまいりました。今当時のお互いのメンバーも入れ替わり、新しい時代への変わりつつありますが、今後もますます交流が続いていきますよう、祈っております。

「この文章は、山口弘子さんが東京クラブのブリテンに寄稿されたものです（東京クラブのブリテン10月号に掲載）」

YMCA NEWS

【リトリートセンター開設60周年記念募金】

多くの子どもたちやご家族が安心して活動できる施設となるよう、開設60周年を機に、環境整備に取り組んでいます。この施設が、京都YMCAの地域社会に対する使命を果たす拠点として、今後も活用され続けるよう努めてまいります。本事業の趣旨にご理解を賜り、ともにこの取り組みを進めていくため、募金へのご協力をお願い申し上げます。詳細は下記二次元コードまたは、<https://kyotoymca.or.jp/facilities/?p=1446>を読み込んでご覧ください。



第2回 役員会議事録

2025年8月26日(火) 19:00～20:40

ウェスティン都ホテル京都 コクーン

<会長主題>

『恩送り』～メンからクラブへ クラブからYMCAへ～

<西日本区・京都部報告>

西日本区会費送金済／担当主事会員に関するアンケート／9/13(土)第2回京都部評議会・京都部部会・京都部メネットの集い・お礼会／京都／9/19(金)京都部国際・交流事業、ファンド事業懇談会／8/29(金)第1回ワイズデー実行委員会／リトリートセンター／10/17(金)／京都部部費振込

<YMCA報告>

8/31(日)リトリート秋季準備ワーク／10/6(月)リトリート開設60周年記念募金説明会YMCA三条本館

<三役報告>

入会金及び会費に関する規定の継続審議／次期京都部Yサ主査輩出の件／10/11(土)九州部会・お礼会／熊本／10/10(金)九州部チャリティゴルフコンパニオン・熊本空港CC

<各事業委員会報告>

・YMCAサービス・ユース事業委員会

入会金等規定は第3案／リトリート秋季ワーク8/31 9:30現地集合／リトリート遊び&BBQ／8月募金報告

・地域奉仕・環境事業委員会

入会金等規定は継続審議／第1回ワイズデー実行委員会8/29／ふれあい広場実施について／京都部ワイズデーについて／RBM献金／エイズ文化フォーラムへの参加呼び掛け

・ドライバー事業委員会

7月第二例会の決算未報告の件／8月第二例会／例会講師の選定／新年例会の会場選定／ニコニコ受入金の確認

・交流事業委員会

アジア・太平洋地域大会時の交流報告／入会金等規定は第3案／九州部会への参加／熊本むさしクラブとの交流は4月花見例会時で予定／東京クラブへの訪問交流は3月か5月で調整

・ファンド事業委員会

入会金等規定は第1案／おしゃもじファンド・エプロンファンドの件／ぶどうファンド／お中元ファンド／じゃがいもファンド 申込締切9/10／EMCFund旅行11/22(土)～23(日)／麻雀ファンド・麻雀教室ファンド／お正月用日本酒ファンド／今期ファンド実績額の確認

・広報・ブリテン事業委員会

入会金等規定は第2案／ブリテン9月～11月号骨子／京都部パナー広告掲載料21名分計21000円を京都部宛に振込済

・EMC事業委員会

入会金等規定は第1案／8月例会の出席確認／広義・功労会員への参加要請／EMC例会／万博花火クルーズ及び乗船前懇親会はクラブ事業としては中止／EMCFund旅行／部長公式訪問例会のメンバー満足度アンケートについて／EMC忘年会の日程調整／会員の例会出席率について

<審議事項>

次期京都部Yサ主査に椿森さんを輩出する件につき承認

HAPPY BIRTHDAY

メ	ン	菅原 楓一	9月11日	能戸 謙介	9月25日
		加藤 俊明	9月28日		
メ	ネット	齊藤 彩乃	9月 5日	山口 弘子	9月16日
		菅原 由利子	9月20日		
コ	メット	八木 築	9月19日		

HAPPY ANNIVERSARY

亀井 久照・三千代 ご夫妻 9月16日
吉井 崇人・香月 ご夫妻 9月17日

編集後記

8月に入って早々、アジア太平洋地域大会が熊本で開催され、25日には東京クラブの例会、また京都ZEROクラブ15周年記念例会、そして自クラブの例会や事業と、お盆休みもある中、大変タイトな1カ月だったかと思います。各例会、事業にご参加いただいたメンバーの皆様、お忙しい中ありがとうございました。

まだまだ暑い日が続く中、9月以降はさらにクラブの活動が活発になりますので、くれぐれもご自愛いただき、今後も例会、各事業への積極的なご参加をよろしくお願いします。

広報・プリテン事業委員長 岡崎敬史

8月報告

例会出席		BFポイント		ニコニコ		ファンド		献 血		140周年募 金		ポジティブネット募金	
在籍者数	37名	切手	0g	第一例会	5,000円	アジア大会二次会	2,950円	献血	0名	第一例会	2,761円	第一例会	2,680円
第一例会	32名	切手累計	0g	第二例会	41,000円	お釣りファンド	15,000円	累計	0名	第二例会	0円	第二例会	0円
在籍者数	37名	現金累計	0円	累 計	53,080円	ぶどうファンド	800円			今期累計	8,807円	今期累計	8,961円
第二例会	29名	E F	0円			名刺ファンド	3,000円					保育園運営補助募金	
メイクアップ	2名	J W F	0円			前期プリテン	69,130円			累 計	453,474円	第一例会	2,260円
出席率	91.9%	EF・JWF累計	0円			お釣りファンド						第二例会	0円
						累 計						今期累計	8,341円

出席第一・時間厳守・親睦・奉仕・使用済切手収集